

「働き方改革の旗振り役を育成」

佐賀工業会（会長：田原和幸氏：シンエイメタルテック（株）社長）は、県下全域の工業会を網羅する佐賀県工業連合会の牽引役として創立約 60 年を迎えた佐賀市内を拠点とする工業会です。昨年は明治維新 150 年を記念し「肥前さが幕末維新博」を佐賀が誇る国内初の「築地反射炉」で盛り立てたのも記憶に新しく残っています。



約 50 社の会員は、機械・電気・電子・情報・通信の技術分野にわたるものづくり製造業の事業主で構成され、佐賀工業会は昨今の第 4 次産業革命による工業生産の変化に対応すべく、各種講習会、講演会、見学会等を開催し、研鑽を重ねて自社工場の変化に対応しております。

新元号に変わり、新たな時代を迎える中で技術革新に対応できる人材育成策の一環としてポリテクセンター佐賀の生産性向上支援訓練の利用させていただきました。人手不足と働き方改革の具体的な取組が佐賀工業会の各事業所の喫緊の課題となっています。

生産性向上支援訓練を利用するにあたって各事業所の生産性向上を実現するには、組織マネジメント分野の横断的課題の方が、生産・業務プロセスの改善分野より参加しやすく、効果的という判断をし、コースは「業務効率向上のための時間管理」（12 時間）の開催となりました。

「限られた人員で最大限の成果を上げる労

働生産性向上を目指す」を目標に、カリキュラムと受講可能な事業所からのヒアリングをおこない、実施機関と佐賀商工会議所の中小企業相談所の方々からの指導もいただきカリキュラムの構築を行いました。



研修には、中堅層以上 15 名の参加があり、ケーススタディとして繊維業界、製紙業界、海外進出工場での貴重な事例の紹介を受けた後、業務分析とタスク管理を中心としたフロー分析をグループ構成で演習に取り組みました。

積極的な受講者参加型研修にするため、「ブレインストーミング」や「KJ 法」の紹介や演習も取り入れられました。

受講者からは、「習得した業務フロー分析で仕事の見える化をしたい。」「日常行っている業務の中にいかにムダ（やり過ぎ）があるか、確認できた。」「業務の見える化に役立てたい。」「業務効率化が社内でも推進されており、役立てることができた。」など、研修成果を窺える感想を多くいただくことが出来ました。

